

さくがわ・たかゆき

2021年9月、浦添市前田にさくがわクリニックを開院。モヤモヤ血管が原因で起こる長引く痛みで悩む患者さんに運動器カテーテル治療・動注治療を提供。放射線診断専門医。IVR(画像下治療)専門医・指導医。運動器カテーテル治療研究会・監事。



長引く痛みはなぜ起こる?

PR

vol. 03

～新治療 さくがわクリニックのカテーテル治療～

文・佐久川 貴行(さくがわクリニック院長)

(第3週に掲載)

長引く痛みでお悩みの患者さんに運動器カテーテル治療・動注治療を提供する、浦添市前田のさくがわクリニック院長が、さまざまな疾患とその治療法について解説します。

日帰り手術で症状改善も

3カ月以上の長引く痛みがある所には、ぼやっとかすんで見える異常な「モヤモヤ血管」ができていることが分かっていきます。モヤモヤ血管の近くには通常見られない病的神経も増殖しており、この病的神経が痛みを伝え、長引く痛みが生じると考えられています。

重症例は自然に治癒しにくい

「四十肩・五十肩」はモヤモヤ血管による長引く痛みが生じる代表的疾患の一つです。名前の通り、40歳以上の方に発症しやすいです。「車の後部座席に手を回したときに腕をひねった」「重たい物を持った時にピキッとした」「犬の散歩中にリードを引っ張られた」など、軽い外傷がきっかけで肩の痛みを生じると考えられています。いつからか徐々に痛みが強くなり、気付いたら治まらなくなっていた、と感じる方が多いです。

四十肩・五十肩の正式名称を「肩関節周囲炎」と言い、肩関節の炎症と、肩を包む袋である関節包が硬くなる線維化が起こります。炎症が起きてしまうと痛みが生じ、関節包の線維化で動かしくくなるのが特徴的な症状です。具体的には「夜間の痛みで眠れない」「腕を目の高さより上に挙げられない」「背中や手に回せない」「衣服の着脱がツライ」などの症状があります。前述の症状に個人差はありますが、動かす時に少し痛みを感じる程

五十肩による長引く痛みの原因はモヤモヤ血管!?

四十肩・五十肩の症例



腕を目の高さより上に挙げられない



夜間の痛みで眠れない



衣服の着脱がツライ



背中や手に回せない

●**軽症**
動かす時に少し痛みを感じる程度
→注射・鎮痛薬の内服・湿布・リハビリなどの治療により、数週間で回復することが多い

●**重症**
夜間痛を伴う・バンザイができない
→3カ月以上経過してもなかなか自然に痛みが治まらないことが多い。運動器カテーテル治療が治療選択肢の一つ

度の軽症の方は、注射・鎮痛薬の内服・湿布・リハビリなどの治療を行うと、数週間で治まることが多いです。

一方、「夜間痛を伴う」「バンザイができない」ような重症の方は、3カ月以上経過してもなかなか自然には治まりません。重症の方は「鎮痛薬内服や湿布を使い続けても痛みが変わらない」「レントゲン検査で骨には異常ないと言われているが痛みが治まらない」と大変不安そうにされています。

運動器カテーテル治療

当院ではこのような3カ月以上続く重症の方に超音波検査を行っています。肩関節周りの筋肉・腱・血管などをチェックする

と、モヤモヤ血管による異常血流が見られることが多いです。「レントゲン検査では異常なかったが、超音波検査で痛みの原因が明らかになった」と安心される方は多いです。

重症の四十肩・五十肩は従来の治療でなかなか痛みが改善しないため、当院では運動器カテーテル治療を提供しています。手首の脈が触れる血管にカテーテルを挿入し、肩関節まで進めて直接投薬することで、モヤモヤ血管を減らす治療です。部分麻酔で行うため、片側であれば30～60分程度です。治療後1時間安静にしていたくため、3～4時間の日帰り手術となっています。治療後の経過に個人差はありますが、夜間や安静時の痛みが早い段階で軽減することが多く、肩の動かしくさは遅れて改善することが多いです。「夜眠れるようになった」「衣服着脱が楽になった」「鎮痛薬の内服量が減った」等、喜んで頂けることが多いです。3カ月以上続く肩の痛みに対して、治療選択肢の一つになればと願っています。

長引く痛みへの
カテーテル治療

当院は
自費診療
です

五十肩・ひざの痛み・バーデン結節(指の痛み)、その他関節痛

さくがわクリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00～12:00	●	●	●	●	●	●
午後 13:00～17:00	●	●	●	／	／	／

休診日／木曜午後・土曜午後・日曜・祝日

浦添市前田1丁目11番1号 1階

予約制 ☎098-877-5577

<https://www.sakugawa-clinic.com/>

